

総括表

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

上笹下地域ケアプラザが担当する地区は、磯子区の南部に位置し、担当する地区の面積は、区内で最大です。南北を縦断する笹下釜利谷道路には多方面に向かうバスが走っていますが年々本数が、減少してきています。メイン通りの笹下釜利谷道路以外は坂や狭い道が多く、昭和に開発された大規模集合住宅にはエレベーターの設置がありません。買い物ができる商店も少なく、年を重ねていくと不便に感じる事が多い地域です。地区の高齢化率は31.1%(全国平均29.1%、磯子地区27.9%)、特にケアプラザのある氷取沢町は43.8%と区内で一番の高齢化が進行。閉じこもり、口腔機能の低下、認知症のリスクが高くなっています。地域の仲間づくり、健康づくり、介護予防の取組みを通してケアプラザの存在や役割を周知していくと共に、地域の各種団体やサークル、介護サービス事業所、行政等との連携を図り、住み慣れた地域での生活を支援していきます。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	「作品展」では 地域住民、障害児・者施設・小学生等に展示場所の提供を行う。「たけのこ茶屋」では、地域ボランティア協力のもと、地域の活動団体や貸館団体に、発表披露の場所を提供し、演目を観覧しながら地域住民同士の交流を図る。誰もが得意なことで地域活動に参加できる場を作る
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	ポッチャの体験会を開催し、広く知っていただく機会をつくるとともに、介護予防や社会参加につながるよう働きかける
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	地域ケア会議を開催し、各町内会での防災対策や取組みについて情報共有を行い、ネットワーク構築を図る
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	エリア別支援チーム会議(民生委員とエリア別の情報共有を行う)を定期的で開催。地域の情報を収集し、各機関に繋げていく
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

地域活動が活発化するなか、今年度は子ども食堂の再開、学習支援の場の提供など、ケアプラザの場所を活かした支援を行うことが出来ました。重点的な取り組みについては①作品展やたけのこ茶屋等ケアプラザの事業を通し、地域の方と近隣の介護施設や障害者施設、小学校との交流を深める事が出来ました。またボランティア団体の活動の場を広げるコーディネーターが来ました。②ポッチャ体験会を通して、ケアプラザに来たことのない方へのアプローチや新しい仲間づくり、介護予防に努めました。③防災をテーマに地域ケア会議や事業を実施。各町内会の防災対策や取組について情報共有を行うと共に、地域への啓発講座へ繋げていく事が出来ました。④民生委員との情報共有を定期的に行い、地域情報を収集し、各種関係機関に繋げていく事が出来ました。来年度も地域の方々、各種団体やサークル、介護サービス事業所、行政等との連携を図りながら、住み慣れた地域で暮らし続ける為の支援をしていきます。

区からのコメント

地域の子ども会が減少し、子どもと地域の繋がりが希薄になりやすい中、子ども食堂や学習支援など、地域の居場所となる場を確保提供できることは今後も重要になってくると考えます。また、作品展やたけのこ茶屋等をおとして、地域交流のみならず参加者の社会参加や活躍の場、役割の創出にも寄与される取組を継続されています。ポッチャなどの新しい切り口で、新参加者層へのアプローチを今後も期待しております。防災は地域ニーズの高いテーマなので、地域が情報交換・共有し、相互に地域力を高められる支援を引き続きお願いいたします。

包括レベルの地域ケア会議では、防災やチームオレンジに向けた取組みについて、地域と情報共有することで、啓発を広めることができていると思います。引き続き、幅広い世代に向けた認知症サポーター養成講座、介護予防や高齢者に関する制度等、各種講座を開催する中で、地域住民のニーズをキャッチしながら、地域で活動する人材とも連携しながら、事業を展開していただくことを期待しています。